

# 研修報告

平成26年9月4日(木)横浜市18区福祉保健センター(福祉保健課・こども家庭支援課)及び認可保育園を対象に「**先天性風疹症候群研修～難聴児の治療と療育～**」を実施しました!!



## 内容

- 1 先天性風疹症候群(CRS)について  
横浜市健康福祉局健康安全課  
課長 岩田 眞美 氏
- 2 人工内耳展示閲覧  
NPO法人 人工聴覚情報学会  
代表理事 真野 守之 氏
- 3 先天性(風疹)難聴と医療・療育について  
石戸谷耳鼻咽喉科  
院長 石戸谷 淳一 氏



NPO法人 人工聴覚情報学会や石戸谷先生の協力のもと、難聴児の早期発見や発見後のフォロー等、治療・教育・療育の連携の大切さについて参加者へメッセージを送りました。

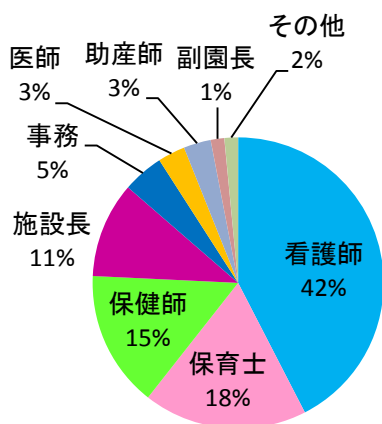
アンケート結果は裏面へ!!



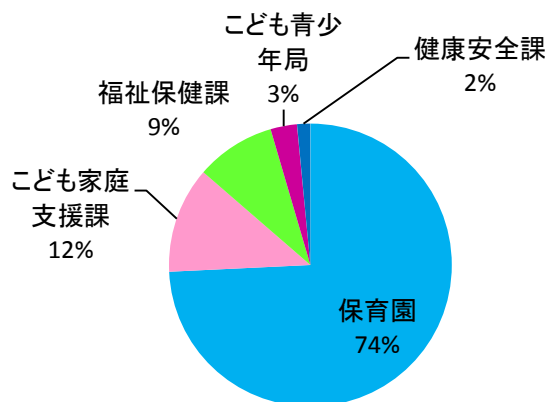


# アンケート結果

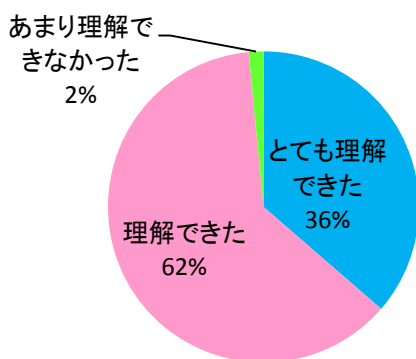
## Q1 職種は何ですか？



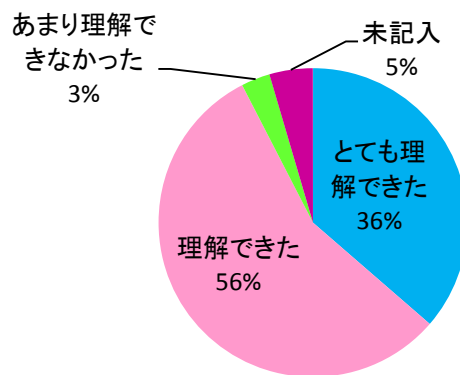
## Q2 所属は？



## Q3 CRSについて理解できましたか？



## Q4 難聴児に対する医療と療育について理解できましたか？



## ♪ 自由記載欄から ♪

- ・医療の重要性と共に、その治療効果を活かすためには、さらにサポートや療育、教育も大切という事や、家族の声掛けが必要という事が印象に残りました。
- ・今後、園での予防接種のすすめや感染予防にも役立てていきたいと思います。
- ・子どもたちの言葉の理解、やり取り、発生等注意深く見ていきます。 等々

## まとめ

普段児と接触の多い職種である参加者の約9割以上がCRSや、難聴児における医療と療育について「とても理解できた・理解できた」と回答しています。知識の普及が早期発見・早期治療につながる環境整備の一助となる、と考えます。

また、早期発見・早期治療に加え、アンケート結果から予防接種への意識も高まっている意見も見られ、予防への意識も向上していることが読み取れます。

以上から、予防～発見時、発見後のサポートのあり方まで、幅広い内容でしたが有意義な研修会でした。

